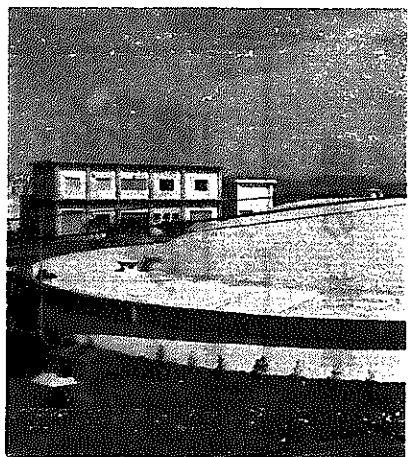


ことしのガス・水道事業



今年度の水道事業予算は、収益的収支で見ると、水道料金などの歳入で三億五千七百八十四万円。水をつくるためにかかる経費などの歳出を、三億四千四百四十万円と見込み、千七百四十万円の利益を予定しています。

大きな事業としては、五十三年度までに、汚でい処理施設を二億五千万円で建

汚でい処理施設を建設

設する計画。この汚でい処理施設は川の水にふくまれている泥を乾燥させ、固体化して処理するもの。場所は、浄水場の南側、三千八百六十六平方メートルの敷地に建設されます。

今年度は、用地の買収と造成工事が主体で、工事が具体化するのには来年度以降になりそうです。

「うちの部落にはいづろ市営ガスが引かれるか」。こんな声が、市政広聴会の席でもよく聞かれます。

このような皆さんの要望を、一日も早く実現するため、ガス水道局でも懸命な努力を続け、四十九年度から積極的に供給区域の拡張に取り組んでいます。

昨年度は、臼井、掘掛、中山、小蔵子朝巻、上赤沢、戸頭、戸頭団地、上八枚（一部）の五百四十六戸の家庭に供給を開始——市内での普及率は、五三％となりました。

今年度もさらに、拡張事業を計画。十二道、次郎右衛門、上八枚、引越、西笠巻、同新田、東笠巻、同新田、上笠巻の木

ガス 今年度も区域拡張を計画

赤沢、木山、鍋湯、蔵主の五百二十五戸へ新たに供給するため、現在、通産省に申請中です。

また、これとあわせ、今後ますます増える需要に備えるため、下八枚地内に容量四百リューベのガスホルダーを、三億六千万円の工事費で建設。十一月の完成をめざし、工事も順調に進んでいます。このホルダーが完成しますと、市の全家庭へ供給しても十分な、ガスを貯蔵することができることになります。



ガスホルダーの建設工事

ちなみに、今年度のガス事業予算は、収益的収支で二百八十五万円の利益を見込み、歳入（ガス料金など）で二億二千二百五十三万円、歳出では（原ガスの購入など）二億九千九百六十七万円となっています。

地籍調査の測量を実施——ご協力を！

ただ今、大郷、鷲巻、臼井の各地区で、正確な地籍図を作成するため、測量を行っています。

関係者が皆さんの宅地、農地などに立ち入ることになります。ご協力をお願いします。



50年度（決算見込み）
財政状況
こうなっています

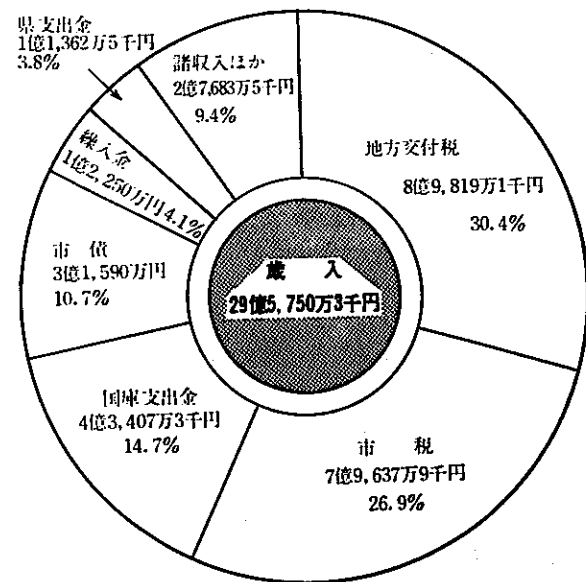
昭和五十年年度一般会計の決算見込みがまとまりました。

昨年度は、二十五億五千八百八十七万円でスタート。七回の補正を行い、歳出総額で、二十九億六千七百七十五万円となりました。

歳	出	29億6,775万2千円
円	1億	2 3 4 5 6 7
教育費 (24.2%)	7億1,893万4千円	
民生費 (17.3%)	5億1,277万6千円	
経務費 (13.8%)	4億999万8千円	
土木費 (13.4%)	3億9,883万3千円	
衛生費 (6.8%)	2億136万5千円	
公債費	(5.2%) 1億5,362万1千円	
農林水産業費	(5.1%) 1億5,185万2千円	
商工費	(3.8%) 1億1,105万8千円	
消防費 (3.5%)	1億376万1千円	
その他 (6.9%)	2億555万4千円	

施策の実施にあたっては、生活環境の整備と福祉事業の充実、財政の建て直しを柱に実施。その結果、四十九年度の赤字額をふくめた決算見込みでは、千二十四万円の赤字が生じました。

ただし、五十年年度だけでみた場合、実質的には一億六千八百六十二万円の赤字。そのうち、一億一千万円の赤字解消計画額へ七百六十二万円を上積み返済将来に備えて、学校建設事業基金と土地開発事業基金に五千五百円の積み立てを行いました。



現在高14億7,668万7千円

市債は大きな建設事業などのために、国などからした借金です。

▶地盤沈下対策、都市計画事業など——3億1,673万8千円 ▶庁舎、消防庁舎、教育センターの建設——3億6,345万7千円 ▶第一中学校の建設や教育施設の整備——5億3,362万4千円 ▶道路や消防施設の整備——8,015万9千円 ▶その他——2億1,270万9千円

市債

おもな仕事

▶第一中学校の建設——三億一千六百八十二万六千円 ▶道路の舗装、改良——一億八百三十八万一千円 ▶都市下水路の整備——一億三千二百七十九万四千円 ▶地盤沈下対策事業——四千七百三十三万円 ▶農村総合整備モデル事業——三千七百三十七万円 ▶根岸小学校の改築工事——二千五百七十九万三千円 ▶農道の整備——二千五百十万円 ▶第一中学校の街路の整備——千四百四十八万六千円 ▶し尿処理施設の負担金——千三百四十八万三千円 ▶交通安全施設の整備——千二百七十七万五千円